

医療との連携に向けた取り組み

—入退院時のケアマネジメント—

【研修の目的】

地域包括ケアの構築に向け、住み慣れた地域で、その人らしい生活を支えるためには、地域全体での連携・協働が求められています。病院の在院日数短縮により、医療ニーズの高い利用者が増加することを考えると、ケアマネジメントにおける医療との連携は、これまで以上に重要になります。そこで、ケアマネジメントが鍵を握っている入退院時の医療機関との関わり方について、実践的な報告や今後の取り組みに向けたポイント等について、講師を招き共に学ぶ機会を企画しました。

<日 時> 平成 28 年 10 月 30 日(日) 受付 9:30 10:00~16:00

<会 場> ATC エイジレスセンター(大阪住之江区)

<交 通> 梅田・本町・心斎橋・なんば方面から地下鉄中央線「本町」からコスモスクエア経由(約18分)
「トレードセンター前」下車すぐ (学会 HP に地図掲載)

<参加費> 会員 5000 円 非会員 8000 円 定員 100 名 *キャンセル後の返金はできません。

<申込締切> 10 月 17 日(月)定員になり次第締切ります。

【プログラム】

時間	研修内容	講師
		総合司会:柴山 志穂美氏
9:30~10:00	受付	担当:学会事務局
10:00~10:05	開会挨拶	小澤 温氏
10:05~10:30	医療との連携に関するケアマネジメントの変遷	柴山 志穂美氏
10:30~12:00	入退院に伴う質の高いケアマネジメントがもたらす成果	筒井 孝子氏
12:00~13:00	昼休み	
13:00~15:20	シンポジウム ① 「医療と介護の連携 ～地域包括支援センターの立場から～」 ② 「京都府における在宅療養安心病院について」 ③ 「大阪府下における医療・介護連携を支援する取り組みについて」 ④ 「入退院連携に関する病院と地域の実践報告」 *後半意見交換	司会:落久保 裕之氏 ① 枝澤 美津子氏 ② 高木 はるみ氏 ③ 濱田 和則氏 ④ 丸山 秀幸氏
~16:00	アンケート 閉会挨拶	落久保 裕之氏

注)プログラム・講師等は変更になる場合もございます。予めご了承ください。

★講 師 筒井 孝子氏(兵庫県立大学大学院 教授)

枝澤 美津子氏(社会福祉法人大阪市東成区社会福祉協議会東成区南部地域包括支援センター)

高木 はるみ(社会福祉法人京都福祉サービス協会 小川事務所)

濱田 和則氏(公益社団法人大阪介護支援専門員協会 会長)

丸山 秀幸氏(社会医療法人ペガサス馬場記念病院医療福祉相談室長)

★本学会研修委員

委員長 小澤 温(日本ケアマネジメント学会理事・筑波大学大学院教授)

委員 落久保 裕之 (日本ケアマネジメント学会理事・落久保外科循環器科クリニック院長)

佐藤 咲恵 (日本ケアマネジメント学会理事・陸前高田市地域包括支援センター)

柴山 志穂美(日本ケアマネジメント学会理事・県立埼玉大学准教授)